

送迎業務モデル例

バス送迎業務のモデル例をまとめました。各園の業務の組立ての参考にしてください。

登園時

事前準備

運転手は、車両の点検（ライト、ランプの動作確認等）をしている。

園長・主任職員等は、運転手の健康状態を確認している。

出席管理責任者は、当日の出欠を確認し、乗車名簿に反映している。

出席管理責任者は、乗車名簿を運転手、同乗職員、園長、主任職員、担任（担当）職員と共有している。

同乗職員は、緊急連絡用の携帯電話等が車内に準備されているか、乗車前に確認している。

乗車時（こどもが所定の場所で順次乗車）

同乗職員は、こどもの顔を目視し、点呼等し、乗車を確認し、記録している。

同乗職員は、バス停に乗車すべきこどもがいない場合や乗車しないはずのこどもがいる場合などは、速やかに出席管理責任者に連絡している。

連絡を受けた出席管理責任者は、保護者に速やかに連絡して確認している。

運転手は、乗車したこどもの着席を確認してから発車している。

降車時（園に到着後、こどもが一斉に降車）

同乗職員は、こどもの顔を目視し、点呼等し、降車を確認し、記録している。

運転手は、見落としがないか、車内の先頭から最後尾まで歩き、座席下や物かげなども含め一列ずつ車内全体を見回り、確認している。

その日の確認業務を補助する職員も同様に確認している。

運転手は、バスの置き去り防止を支援する安全装置が動作していることを確認している。

「出席管理責任者」や「その日の確認業務を補助する職員」は、各園の実情に応じて主任職員等と兼務することも考えられます。

降車後（こどもが全員降車後）

担任（担当）職員は、乗車名簿とその日の出欠状況を照合し、出席管理責任者に報告している。

情報に齟齬がある場合、出席管理責任者は、速やかに出欠について確認を行うとともに、園長等に報告している。

車内清掃・点検等を行う者は、見落としがないか最終確認している。

降園時

事前準備～乗車時（こどもが一斉に乗車）

出席管理責任者は、当日の出欠を反映させた乗車名簿を運転手、同乗職員、園長、主任職員、担任（担当）職員と共有している。

同乗職員は、緊急連絡用の携帯電話等が車内に準備されているか、乗車前に確認している。

同乗職員は、こどもの顔を目視し、点呼等し、乗車を確認し、記録している。

降車時（こどもが所定の場所で順次降車）

同乗職員は、こどもの顔を目視し、点呼等し、降りる場所でこどもを保護者に引き渡したことを確認し、記録している。

運転手は、降車したこどもの安全を確認してから発車している。

降車後（こどもが全員降車後）

運転手は、見落としがないか、車内の先頭から最後尾まで歩き、座席下や物かげなども含め一列ずつ車内全体を見回り、確認している。

その日の確認業務を補助する職員も同様に確認している。

運転手は、バスの置き去り防止を支援する安全装置が動作していることを確認している。

車内清掃・点検等を行う者は、見落としがないか最終確認している。

送迎用バス内におけるこどもの席を指定しておくことは、所在確認をしやすくし、見落としを防止する効果が期待されます。